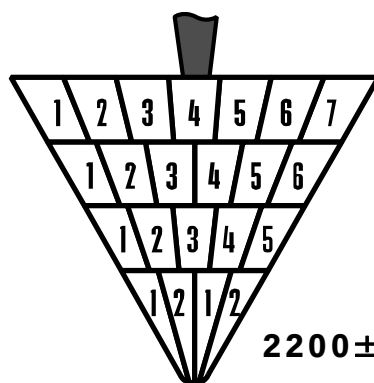


1. イラスト関係

Q1－1 配分パターンのイラストの使い方にルールはありますか？



2200±200kcalの場合(基本形)

(A)

エネルギー量に合わせたサービング数の適量の示し方として、主食が最大7つまでの配分パターンのコマのイラストを基本として活用ください。主食が最大5つまでのもの、8つまでのものといったパターンも対象に合わせたパンフレット等を作成される際に活用することが可能です。

ただし、設定した対象者がわかるように、配分パターンを示したコマのイラストの近くには、エネルギー量を必ず記載することとしてください。

特に対象を特定しない商品などにこの配分パターンのイラストを掲載する場合は、主食が最大7つまでのものを基本として活用してください。

なお、牛乳・乳製品について、1、2という数字をコマの外側から書いていますが、用途に応じて、内側から書くことも、外側から書くこともできます。

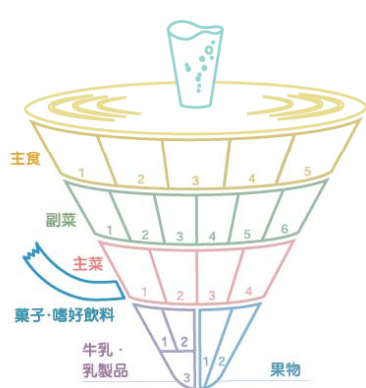
Q1－2 牛乳・乳製品の数は外側から1・2と表記されているが、摂取量が多くコマの枠からはみ出す場合は3SVが外側に付くと1, 2, 3と数字が繋がらなくなるのですが・・・。

(A)

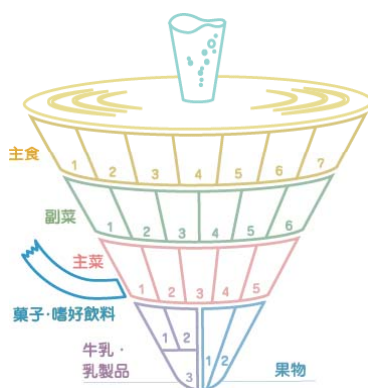
牛乳・乳製品の数字については内側から1, 2, 3と記載することも、外側から記載することもできます。

ただし、子ども用に牛乳・乳製品を3SVとする時は、コマの形を崩さないように、現在2つ分の区分を3つに分けて表記してください。

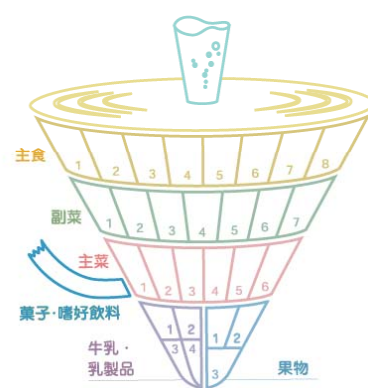
○子ども向けの牛乳・乳製品の摂取目安の示し方(Q6－1)



1400～2000kcalの場合



2200±200kcalの場合



2400～3000kcalの場合

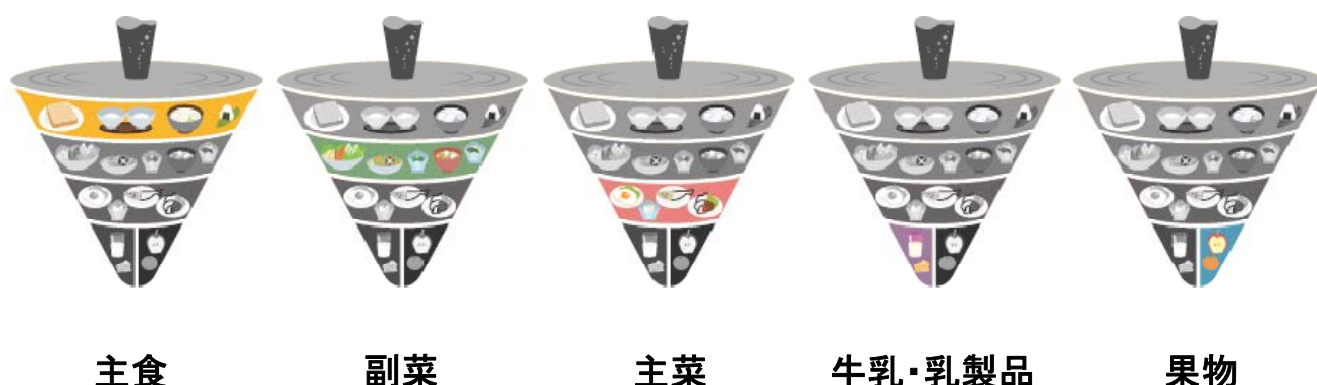
Q1-3 1つの料理区分を強調したコマのイラストを作成したいのですが、ルールはありますか？

(A)

「食事バランスガイド」の趣旨に沿ったものとしてください。
以下のイラストのように、強調したい料理区分のみをカラーとするなど、コマの形の変更を伴わない方法で強調することができます。

ひとつの区分のみを拡大するといったように、コマの形の変更が伴う強調は、その区分のみ多く摂ることを推奨していると誤解を与える恐れがあり、「食事バランスガイド」の趣旨から外れるため、注意してください。

○特定の料理区分を強調したコマの示し方の例



Q1ー4 運動している人と「運動」の噴出しを変更したいのですがどうしたらよいでしょうか？

(A)

運動のイラスト、噴出しは、「食事バランスガイド」のイラスト等の利用についてのガイドライン」

(http://www.maff.go.jp/j/balance_guide/b_guideline/index.html)を参照の上、変更することができます。

イラストの一部を「ガイドライン」に沿って変更した場合（地域版食事バランスガイドでコマの中の料理例を差し替えた場合を含む）は、「厚生労働省・農林水産省決定」と記載する代わりに、「厚生労働省・農林水産省が決定した「食事バランスガイド」に基づき、〇〇〇（作成主体名）が作成したものです」と明記してください。